

生分解性マルチ(ナトゥーラ・カエルーチ・ビオフィレックスマルチ)の効果確認試験

JAサロマ

田宮 英明



①カエルーチ(9月7日撮影)



②ナトゥーラ(9月7日撮影)



③ビオフィレックス(9月7日撮影)



④カエルーチ(鋤き込み後)



⑤ビオフィレックス(鋤き込み後)

試験目的

生分解性マルチの効果確認試験

試験作物 及び品種

南瓜

試験資材 及び数量(規格)

ナトゥーラ(0.016mm×95cm×400m) 銀ネズ 無孔
 ナトゥーラ(0.018mm×80cm×400m) 透明、銀ネズ 無孔
 カエルーチ(0.018mm×80cm×400m) 銀ネズ 無孔
 ビオフィレックス(0.018mm×80cm×200m) 透明 無孔

慣行資材

サンブラックマルチ(80cm×400m) 乳白 無孔

栽培方法

播種日	定植日	収穫日
5月上旬	5月29日	9月中旬
【栽植密度】 畝幅：80cm 株間：40cm		

資材使用期間

5月25日～10月1日

試験区面積

9反

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

- ・展張
展張時は試験品、慣行品とも変わらず作業することができたが、穴開けの際、カエルーチは縦裂けが生じた。
- ・鋤き込み
鋤き込みは試験品、慣行品とも変わらず作業することができた。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

天候が悪く場所によっては水没し、収量にばらつきが出てしまったため、判断ができなかった。

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

- ・分解速度
分解速度はナトゥーラ(透明) ≧ ナトゥーラ(銀ネズ) > ビオフィレックス > カエルーチであった。ビオフィレックス、カエルーチは分解が遅く、収穫時期でもビニールのように伸びる感覚があった。

(4)保温効果について

ナトゥーラと比較すると、初期生育は透明の方が優れているように見られた。

(5)雑草・病害虫の発生について

- ・雑草抑制
ビオフィレックスは雑草がマルチを持ち上げている箇所があった。全般に透明のほうが銀ネズよりも雑草が多かったが、一部焼けて変色していた。

モニター感想

サンブラックマルチの生産が終了するため、代替品となる生分解性マルチの試験を行った。作業性については慣行品と比べ大きな問題はな

かったが、収量については天候不良により場所によってはばらつきが出てしまったため、来年以降も検討が必要である。

JA担当者の感想(生産資材課 穴戸 氏)

サンブラックマルチの代替へ向けての試験であったが、天候不順により満足した結果が得られなかったのは残念であった。しかし、慣行品と同等に作業することができた試験品もあったので問題はないと考えられる。生分解性マルチは今後間違いなく必要な資材であるので生分解性マルチの普及が広がり、安価な資材が出てくることを期待している。

今後の使用について

継続して使用したい。
サンブラックマルチに変わる品目として、労働力の軽減を考慮すると生分解性マルチを使っていく必要がある。南瓜は初期生育で温度を上げるためにマルチが必要であるが、その後は鋤き込めれば良いので、分解が早いナトゥーラが優れていると思われる。

将来希望する資材について

コスト低減につながる資材

その他

サンブラックマルチの代替として、12月に部会を開催し品目を決定する予定である。

1 高温対策

2 青虫忌避効果

3 調光フィルム

4 クリンテート

5 機能性マルチ

6 育苗資材

7 不織布

8 その他